



ハトダヨ
2024年
11月号

函館市中央図書館

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500 FAX:0138-35-5525

函館市中央図書館だより

第102号 令和6年11月1日 発行

予約 ランキング

予約数の多い本ランキングを紹介
します。こちらを参考に読みたい
本を探すのも一つの方法です。

令和6年10月20日現在、予約回数の多かった本をご案内しています。

- | | | |
|----|------------------------|----------|
| 1 | クスノキの女神 | 東野 圭吾／著 |
| 2 | あなたが誰かを殺した | 東野 圭吾／著 |
| 3 | 成瀬は天下を取りにいく | 宮島 未奈／著 |
| 4 | ブラック・ショーマンと
覚醒する女たち | 東野 圭吾／著 |
| 5 | あいにくあんたのためじゃない | 柚木 麻子／著 |
| 6 | 籠の中のふたり | 薬丸 岳／著 |
| 7 | 谷から来た女 | 桜木 紫乃／著 |
| 8 | わたしの知る花 | 町田 そのこ／著 |
| 9 | spring | 恩田 陸／著 |
| 10 | 迷惑な終活 | 内館 牧子／著 |

図書館俳句ポスト受賞者

7月俳句ポストへ応募された中から選ばれた
作品です。お題は「打水(うちみず)」。

入選

網戸洗い上げ遅めのランチとす
俯きて無口な二人青嵐
夕焼やへとへとママがチャリを漕ぐ

美馬まり子

佳作

理科室の窓に押し寄せ虹二重

松浦学

池田陽子
中西芳之



開架展示のご案内

第16回 わたしたちのおすすめ本

展示期間

2024年10月26日(土)~2024年11月28日(木)

毎年、好評をいただいている図書館スタッフによる「わたしたちの
おすすめ本」。今年もどの本も選び抜かれた一冊となっています。
個性豊かなポップも参考に、少しでも気になる本がありましたら
ぜひお手に取ってください！



ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

場所：A1～3 他
請求記号：B913.68 コ

タイトル：「今夜は、鍋。温かな食卓を囲む7つの物語」

著者：角田 光代 他 出版社：新潮社 (2024年1月)

そろそろお鍋が恋しい季節。そんなお鍋をテーマにした短編集をご紹介します。
角田光代さんや青木祐子さんなど、人気作家さんが”鍋を囲むひととき”を描いた7作品を収録。
短編なのでちょっとしたすき間時間に一作品ずつ読むもよし、まとめて一気に読んでしまうもよし。読み終わったらきっとあなたもお鍋を食べたくなるに違いありません。私のお勧めの作品は清水朔さんの「初鍋ジンクス」。なんとお鍋の視点から描かれたお話で、思わずクスリと笑ってしまう一作です。

場所：A19～21
請求記号：673.97 コハ

タイトル：「ただめしを食べさせる食堂が今日も黒字の理由」

著者：小林 せかい 出版社：太田出版 (2016年12月)

お店に買い物へ行くと、忙しそうに仕事をしている店員さん達を見かけることがあるかと思います。お店では数名の店員さんが働いているのが普通の光景ですが、東京にある小さな食堂では全て1人で切り盛りしている食堂があります。店員1人・客席12席・メニューは1日1種という小さな定食屋。しかもこの食堂、「タダでご飯を提供することがあるにも関わらず、黒字経営ができていく食堂」なんです。この“タダ”というシステムが食堂を生き生きとさせる裏技にもなっており、飲食店経営の常識を覆す発想は「当たり前」という思想を見直すきっかけにもなる本だと思います。

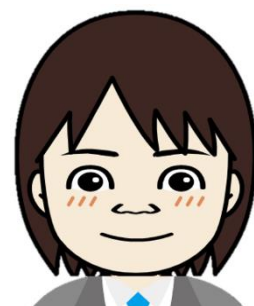
場所：千歳図書室
請求記号：Fマサ

タイトル：「きわこのこと」

著者：まさき としか 出版社：幻冬舎 (2015年8月)

11月3日(日)当館視聴覚ホールにて、「まさきとしか氏 作家講演会」が開催されます。まさきさんの作品を、すでにたくさん読んでいらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。私が初めて読んだ、まさきさんの作品は「きわこのこと」。後味が表現しがたく、読後も頭から離れなくなるような作品で、「きわこ」という女性に憑りつかれたような感覚を味わいました。この「きわこのこと」は、今から9年前の2015年に出版され、本屋やオンライン書店では注文を受け付けていないのですが、函館市内では千歳図書室に所蔵されています。図書館は、時を越えていつでも読みたい本に出会える場所です。

館長随想(三十二)



今年家の庭に花を植えました。春先から秋にかけて、市内では多くの花の苗が常に売られており、お店に行つて、こどもが数百円のお菓子をかうみたいには買つては植えていました。

ラベンダーもポピュラーなイングリッシュユラベンダーのほかフレシラベンダー、コスモス、色とりどりのジニア、変わった名前でもココロ(だったと思います...)というのもありました。苗から植えたものが多くすでに花がついており、気持ちよく植えていました。ただ、にわかには始めたせいもあり育て方がわかっておらず、コスモスは針金のように細く、宿根草の一部はすっかり枯れてしまいました。きれいな名前のハゴロモジャスミンは今では単に枝しかありません。

やっぱり植物は難しいな、と少しため息をついていたころ、裏庭の空いていた土から何やら植物が出てきました。周りには少し雑草もあり8月多忙で構うことが出来ずいましたら、ぐんぐんと伸びて9月にはすっかり大ぶりの葉っぱをつけていました。なんだろう、とみていたところ、数年前まで育てていたキウイフルーツだったので。毎年、果実の実をつけていましたが、味はいまいちで抜いてしまつていたのですが根が残っていたのでしよう。

自分の勝手に、育ててほしいものとそうでないものと優劣つけていたことに少しばかり反省しました。

秋になると、すでに植わっていたピンクの薔薇は元気に咲き、赤い小ぶりの薔薇はわずかなつぼみをつけていました。イングリッシュガーデンみたいにしたいたいと思つて手元にあった本を見ていたら、薔薇につく実は完全に熟しつぶして種を取ると薔薇の芽が出ると書かれてありました。来年はダーウィンハイブリットチューリップを植えます。少し多かったので図書館にも植える予定です。(館長 落合仁子)

デジタル資料館 紹介



天祐寺境内で貝塚発見 (ph003730)

函館市内で貝塚が発掘された事を伝える新聞記事に掲載された写真です。見つかった貝塚は約二千年前の物と考えられ、アサリやハマグリ、土器や石器も出土しました。

保存状態も非常に良く、ほぼ完全な形で残っていたということです。

参考：昭和34年11月18日付 北海道新聞

図書館員によるブックトーク

紹介本リスト

【役に立つ動物】

- ・わたしのそばで生きていて リサ・パップ／作 WAVE出版 Eハツ
- ・犬が看取り、猫がおくる、しあわせのホーム 石黒 謙吾／文・写真 光文社 369.263 イシ
- ・看取り犬・文福の奇跡 若山 三千彦／著 東邦出版 396.263 ワカ
- ・マンガ看取り犬・文福の奇跡 若山 三千彦／原作・北村 永吾／漫画 学研プラス Y396.263 ワカ
- ・dachouはアホだが役に立つ 塚本 康浩／著 幻冬舎 646.2 ツカ
- ・dachou博士の人畜無害のすゝめ 塚本 康浩／著 ビジネス社 646.2 ツカ

【おうち時間】

- ・おうち時間の作り方 柳沢 小実／著 大和書房 B590 ヤナ
- ・暦の手仕事 中川 たま／著 日本文芸社 596 ナカ
- ・おうちで楽しむお菓子の本 空想喫茶トラノコク／著 エムディエヌコーポレーション Y596.65 オウ

【文字のないえほん(サイレント・ブック)】

- ・ぞうのボタン うえの のりこ／さく 富山房 Eウエ
- ・旅の絵本 8 安野 光雅／著 福音館書店 Eアン
- ・イエローバタフライ オレクサンドル・シャトヒン／著 講談社 Eシヤ
- ・Michi みち junaida／著 福音館書店 Eシユ
- ・えがないえほん B. J. ノヴァク／さく 早川書房 Eノウ

【タイムトラベル】

- ・タイム・リープ上・下 高畑 京一郎／著 メディアワークス YBF タカ1・2

【地元×青春】

- ・ナカスイ! 村崎 なぎこ／著 祥伝社 Fムラ
- ・ナカスイ! [2] 村崎 なぎこ／著 祥伝社 Fムラ2

【古生物】

- ・古生物動物園の作り方 土屋 健／著 技術評論社 Y457.8 ツチ
- ・古生物水族館の作り方 土屋 健／著 技術評論社 Y457.8 ツチ
- ・化石になりたい 土屋 健／著 技術評論社 457 ツチ
- ・古生物食堂 土屋 健／著 技術評論社 Y457.8 ツチ
- ・遠い海から来たCOO 景山 民夫／著 角川書店 BF カケ